

主の降誕 夜半のミサ ルカ 2：1～14

イエス様が生まれる何百年も前から、ユダヤの人たちは外国から支配されていました。たくさん働かされて、税金もたくさん払わされてました。自分たちの食べるものがない時もありました。神様は、私たちのことを助けてくれるのだろうか？ 心配になることもありました。でも、諦めないで救い主が生まれることを何百年も待っていました。

長い間、待って、待って、救い主、赤ちゃんイエス様が生まれます。でも、泊まる場所がなく馬小屋でした。幼稚園のお友達は病院で生まれて、ベッドに寝かされたと思います。でも、赤ちゃんイエス様は、馬小屋で生まれて、動物の餌箱（飼い葉桶）に寝かされます。赤ちゃんイエス様の目は、キラキラしていました。遠い東の国から3人の博士も、羊飼いたちも、キラキラ光る目と、時々動かす足と手を見て、大喜びしました。苦しい時が長くて、待ち遠しくて、待って待って生まれたので、とても嬉しくなりました。

みんなにとって、救い主が生まれるってどんなことでしょう？

クリスマスは「すごいなあ！」と思うことを見つけるお祝いです。

赤ちゃんは、たくさん泣いて、おっぱいを飲んで、大きくなります。イエス様もみんなも同じです。イエス様と一緒に、これは「すごいこと！」です。

お母さんは、ご飯を食べさせて、着替えさせて、寝かせます。これもマリア様と一緒に「すごいこと！」です。

先生たちは、みんなの心と体が大きくなるように、毎日毎日、ご用意してくれます。これも「すごいこと！」です。園長先生は、悪い人からみんなを守るために空手を練習しています。これも「すごいこと！」です。1つ1つは、小さなことです。でも「すごいこと！」です。

イエス様は、何でもできる大人の人が「ポン」と天から降りてきたんじゃないありません。泣いたり、少ししか動けない、赤ちゃんからはじめました。だんだん大きくなって、困っている人を助けるようになりました。みんなも、赤ちゃんからはじめて、できることが増えました。クリスマスの劇ができるようになりました。これも「すごいこと！」です。

自分のことだけじゃなくて、困っている人のためにお祈りできるようになりました。自分の生まれた国が戦争で危なくなると、他の国に逃げる人たちを何て言ったっけ？ そう「難民」の人たち。目で見ないけど、困っている難民の人たちに優しくしてあげる。これは本当に「すごいこと！」です。

小さくて「すごいこと！」。それを見つけるのがクリスマスです。

イエス様は、泊まる場所も、ベッドもありませんでした。生まれたら命を狙われて難民としてエジプトに逃げました。でも、諦めませんでした。みんなの「希望の星」になろうとしました。今日も輝いています。私たちも、小さくても、諦めない「希望の星」になっていきましょう。小さくても「すごいこと！」を探していきましょう。それがクリスマスのお祝いだと思います。

クリスマス、おめでとうございます。